



なちかつうら

2021

3

社会福祉法人 那智勝浦町社会福祉協議会
〒649-5331 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満1418番地2 (那智勝浦町福祉健康センター内)
TEL:0735-52-5252/FAX:0735-52-3700/E-mail: nachikatsushakyo5252@train.ocn.ne.jp

太田小学校

年をとるってどんなこと?

1月21日(木)太田小学校3・4年生7名が「年をとるってどんなこと?」をテーマに「おじいちゃん・おばあちゃんになりきる」高齢者疑似体験学習を行いました。年齢を重ねた時のからだに近づくような高齢者疑似体験の装具をつけて、高齢者になったつもりで階段の昇り降りや小銭入れからお金を取り出すなどの様々な体験を行いました。「おじいちゃんそこ危ないよ」「おばあちゃん足元に気をつけて」等々、手をつないだり、そっと介助をしたりと、お互いに声を掛け合い、気にかけてあいながら体験しました。

体験後の感想では、「階段を下りる体験が怖かったので、坂道があったら危ないよって声をかけたい」「あたり前にできていたことも、おじいちゃんやおばあちゃんになるにつれて、できなくなってくるんだとあらためて分かりました。もしこまっていたら助けたいと思いました」など、体験を通して、自分だったらどんなお手伝いができるか考えるきっかけとなった様子でした。



高齢者疑似体験

～高齢者の生活や気持ちを理解し、自分たちにできることについて考え、思いやりや助け合いの心を育てよう～



2月18日(木)色川小学校3・4年生5名が高齢者疑似体験学習を行いました。児童達は腕や足の動きが鈍くなるおもりをつけて、視界がくもるような曇り眼鏡をかけて、関節が固くなって腰が曲がるようなベルトをつけて等、加齢にともなう身体の変化を体験しながら、階段の昇り降りや小銭入れからお金を取り出すなどの様々な体験を行いました。

体験後、児童達から「助けるのは当たり前だけど、ここが危ないよって教えてあげたい」「大丈夫ですかって心配するような声掛けがしたい」「色川にはたくさんのおじいちゃんおばあちゃんが暮らしているので、今日の体験をいかしてお手伝いできたらいいなと思います」と感想を発表してくれました。高齢者の生活を疑似体験することで、お互いに助け合い支え合う大切さに触れることのできた体験学習でした。

高齢者のことを知って優しく
できるように学習したいです!

色川小学校

車いす・視覚障害疑似体験 ～那智中学校～

12月17日(木)那智中学校1年生47名が、福祉体験で車いす体験・視覚障害疑似体験を行いました。車いす体験では、生徒が2人1組になり、一人が車いすに乗り、もう一人が車いすを押し、段差やスロープ等のあるコースをまわり、途中で交代して介助する人、介助される人の両方の立場を体験しました。視覚障害疑似体験では、ガイドヘルパーの基本姿勢や白杖の使い方、声の掛け方等を学び、階段や細い通路といったコースを歩いて体験しました。生徒達は、障害のある方やサポートする方の両方を体験することにより、様々な人の立場を知って思いやりや助け合いの心を身に付けて、福祉への理解を深めました。



認知症サポーター養成講座

太田小学校

12月16日(水)太田小学校3・4年生7名につつじ園・川口看護師による「認知症サポーター養成講座」が行われました。川口看護師からは認知症の一番の原因は年を取ること最近では認知症の人が増えているので認知症になっても安心して地域で暮らすことができるように、認知症の人やその家族を応援する人、「認知症サポーター」になってくださいと児童達に講座終了後にオレンジリングが配られました。

その後、児童達はふれあい交流も兼ねて高齢者の方と一緒に正月用の「しめ縄リース」を作り、高齢者の方に稲わらを編むコツを教わりながら楽しい時間を過ごし、素敵なしめ縄リースができました。



那智中学校

1月7日(木)、那智中学校1年生1組・2組の47名に地域包括支援センターの主任介護支援専門員と看護師による「認知症サポーター養成講座」がクラス毎に行われました。

那智勝浦町では、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組む為、認知症サポーターを養成しています。認知症サポーターとは、認知症を正しく理解して、偏見を持たずに認知症の人や家族をできる範囲で手助けする人です。講座を受けた生徒には認知症サポーターの証であるオレンジリングが配られました。



いきいきサロンの様子

現在、那智勝浦町内で活動されているサロンは16か所です。
今回は、そのうちの9か所で開催されたサロン活動についてご紹介します。

浦神西区

1月28日のサロン浦神西区は、下里小学校4年生(当時3年生)が、社会科の課外授業で西山十海住職の説明を聞きながら浦神について探索し、それを題材にした劇と浦神について調べた成果を発表したDVDを鑑賞しました。また毎年10月に行われる浦神塩竈神社の例祭で奉納される勇義社獅子舞の映像も鑑賞しました。最後にぜんざいが振る舞われ、参加者は楽しい時間を過ごしました。



大勝浦区

2月17日のサロン大勝浦区は、太地町社会福祉協議会の看護師3名による介護保険制度や訪問看護が行う支援内容について、具体的な例をあげながらの講話が行われました。また、健康寿命をのばす為には要介護状態の手前のフレイルの段階で食事や運動などを心がけることが大切であるとの説明を受けて、いすを使った簡単な運動を参加者全員で行いました。



中ノ川区

2月24日のサロン中ノ川区は、那智勝浦町地域包括支援センターの主任介護支援専門員、看護師による「認知症予防ミニ講座」が行われました。認知症予防には、無理なくできる運動を続けること、低栄養を防ぐこと、また積極的に人との交流を図ることが効果的であることを学びました。そして講座終了後には、2月の誕生日の参加者を皆でお祝いしました。

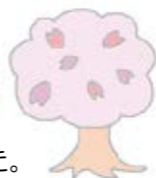


*** ご寄付の御礼 ***

次の方々から善意のご寄付をいただきました。(10月~2月)

濱口 勝央 様 子安 みよ子 様 華厳宗正観寺 勝浦教会 様

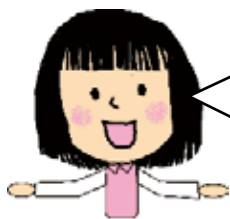
寄付金は、社会福祉向上のため、有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



居宅介護支援事業所

〈ケアマネの役割〉

- 要介護認定の申請代行
- ケアプランの作成
- 介護サービス事業所との連絡調整
- 介護に関わる各種手続き など



介護に関すること
お気軽にご相談下さい!
Tel.0735-52-9111

訪問介護事業所

介護についてお困りの方はぜひご相談ください。
ホームヘルパーがお手伝いをさせていただきます。
例えば、入浴・排泄・服薬
衣類の着脱などの介助
掃除・洗濯・調理・買い物 など



ホームヘルパーも募集しております。
詳しくは那智勝浦町社会福祉協議会
Tel.0735-52-5252までご連絡ください。

いきいきサロン

認知症サポーター養成講座

大勝浦区



三四朗

1月20日にサロン大勝浦区、2月26日にサロン三四朗で、地域包括支援センターの主任介護支援専門員、看護師、社会福祉士による「認知症サポーター養成講座」が行われました。講座では認知症についての正しい知識と理解を持って、認知症の人や家族を地域で支えようをテーマに認知症の人の具体的な事例を寸劇も交えながら説明してくれました。参加者からは「認知症の人やその家族の気持ちを身近に感じることができ、地域で支える大切さを学びました」「以前家族で認知症の人と向き合う経験があり、振り返るきっかけになりました。改めて勉強になりました」との感想がありました。参加者の皆さんは新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、検温、マスク着用、手指の消毒、換気等の感染症予防対策は必要ですが、毎月サロンで会える大切さを感じながら有意義な時間を過ごすことができました。

いきいきサロンミニ栄養講座

11月12日にサロン大野区、12月8日にサロン里区、2月5日にサロン西部地区、3月8日に小阪区・南平野区合同で那智勝浦町食生活改善推進員の方による「低栄養・認知症予防のためのミニ栄養講座」が行われました。講座では、テキストを使った脳トレーニング、低栄養予防の食事のポイントやおすすめのレシピの紹介、またお寿司やうどん、ラーメン等の食事にはどれだけの塩分が含まれているかなど、クイズを交えながらの話を楽しく聞いて健康的な食生活に対する意識を高めました。



大野区



里区



西部地区



小阪区
南平野区